

医療の現場で広がるナレッジ×AI活用

医師

SOAP形式カルテ自動生成

音声認識した会話内容と問診票からカルテを自動生成。記録作成の負担軽減を支援



診療ガイドライン読解支援

膨大なガイドラインから必要な情報を即座に抽出・要約



臨床対応トレーニング支援

術式別マニュアル等に基づく模擬シナリオで手術・周術期対応をチャット形式で学習、早期戦力化を支援



海外論文読解アシスト

海外の最新論文を迅速に翻訳・要約、知見のアップデートを円滑化



論文執筆支援

構成案の提示や表現の推敲により、論文執筆を効率化



PubMedクエリ自動作成

調査テーマに応じた検索式をAIが提示し、文献調査の効率化を支援



看護師

勤務シフト自動作成

勤務希望や資格条件、夜勤制約など複雑な条件を考慮し、最適な勤務シフトを自動生成



巡回ガイダンス・記録

巡回時のチェック項目をAIが音声でガイド。報告内容をもとに看護記録や申し送りの下書きを作成



様式9記録・チェック支援

記載漏れや不整合を検知し、確認業務の効率化を支援



看護文書作成支援

院内情報をもとに看護計画や看護サマリー等の書類作成を支援



事務部門

レセプトチェック自動化

点数表や過去事例をもとにレセプト確認を支援し、返戻リスクの低減と収益確保に貢献



補正予算対応支援

公表資料から自院に関係する施策を抽出、申請書の作成まで支援



電話問合せ自動応答

AI音声で電話問合せ対応を代行、受付窓口の対応工数を削減



予約確認の自動架電

AI音声で予約確認や検査前案内などの定型連絡を自動化し、職員の架電負担を軽減



FAQ自動生成・公開

院内マニュアルや過去の問合せ履歴等からFAQを自動生成・公開



シナリオレスAIチャットボット

Webサイトの公開情報を活用し、シナリオレスなAIチャットボット公開を支援



その他・共通

人間ドック受診スケジュール作成

検査機器、担当者数、検査順序などの条件をもとに受診スケジュール案を自動作成



議事録作成

会議・打合せのメモや音声から議事録を自動作成



院内情報質問窓口

業務FAQや院内規程、各種ルール等、院内の膨大なナレッジをもとに、AIが質問へ即時回答

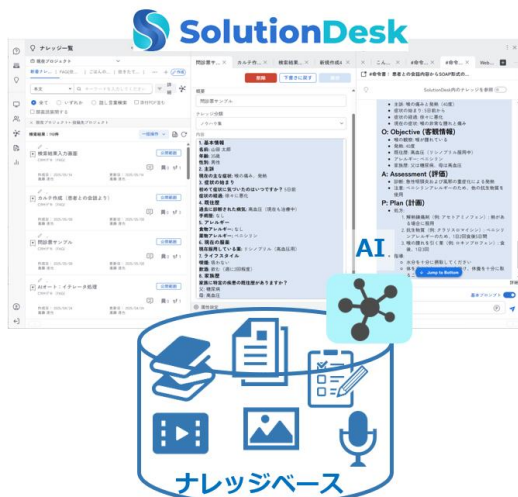


多言語対応

外国語での問合せも専任スタッフ不要でAIが即座に対応



ナレッジマネジメントに基づくAI活用ソリューション SolutionDesk



- ・生成AIを搭載したナレッジマネジメント基盤
- ・部門ごとに独自のナレッジベースを構築
- ・チケット管理による業務依頼・進捗管理
- ・業務に組み込める実務直結AIアプリ
- ・共通ナレッジベースを参照しAIが業務支援、自動化
- ・音声応対を起点にナレッジ化、後続業務自動化
- ・CRMやSFA、設備管理など既存システムと柔軟に連携

「AIを導入する」から「AIとともに進化する」へ

■ 柔軟なAI活用方式（DAG / ドリルダウンRAG / ARG）

SolutionDeskではAIにナレッジを「正しく使わせる」ための、柔軟なAI活用方式を用意しています。

DAG(特定参照): 指定したナレッジのみを参照。誤情報のリスクを最小限に抑え、高い信頼性が求められる業務に対応。

ドリルダウンRAG (絞り込み): 製品名や年式で絞り込んだ上でナレッジを参照。通常のRAGの課題である「似て非なる情報」の混入を防ぐ。

ARG (全件参照): 関連するすべてのナレッジを参照。網羅的な集計・比較・分析を自動化。

■ 現場の「状況判断」と「確実な処理」を両立するAIEージェント

特性の異なる2つの実行方式により、柔軟なAI処理から安定した定型処理まで対応します。

AIオート(判断型): メール受信、時間指定などをきっかけに、AIが業務処理を自動実行。

SDオート(プログラム型): 開発したコードを正確に反復実行し、安定性が求められる定型業務に対応。

■ 音声応対を起点に、ナレッジ活用から後続業務までを一体化

人と人、人とAIの音声対話をテキスト化し、チケットと紐づけて保存。通話終了をきっかけに、要約、報告書作成、新規チケット発行、ナレッジ化、外部システム連携などの後続処理を自動実行します。音声応対を単体機能で終わらず、業務全体の流れに組み込み、効率化と品質向上を支援します。

■ 着実に成果へ導く「業務実装モデル」と「伴走支援」

AI活用が組織に定着し、成果を生み続ける仕組みを提供します。

業務実装モデル: AIと社内ナレッジを連動させた「ナレッジ×AI 業務実装モデル」を提供。業務の中でAIを組み込む場所や参照情報をあらかじめ設計し、一部業務から段階的に拡張できます。

伴走支援体制: 導入後の形骸化や属人化を防ぎ、現場の声を反映した改善を継続。社内に専門人材を確保せず、既存体制のままAI活用レベルを引き上げます。

掲載されている会社名、製品名、サービス名、ロゴマークなどは、該当する企業もしくは組織の商標または登録商標です。

©Accela Technology Corp. 本サービスには、当社が取得した特許（第5993848号、第7761291号）の技術を使用しています。